

なぜあなたの指示は伝わらないのか

チーム全体として成果を出す。
チームとしてのパフォーマンス。
理解できるように伝える。
メンバーの成長に責任を持つ。
作業のポイントや手順など丁寧に説明する。
目的や意図を正しく伝える。
相談し辛い、報告し辛いオーラ。
メンバーが自ら主体的に動く。
プロアクティブに行動。
自ら最適な行動を考え、リーダーに提案する。
個々のメンバーが最高のパフォーマンスを発揮。
リーダーしかできない作業に注力。
リーダーの意図をメンバーに伝える。
リーダーの役割は、チーム全体のマネジメント戦略立案。
メンバーと方向性だけ認識を合わせる。
メンバーが自ら考え主体的に行動できる適切な指示。
目的、手段、期日など全体像を理解。
作業の途中で認識を合わせズレを軌道修正。
指示の難度や粒度をメンバーの成長に合わせる。
リーダー不在でもメンバー間でも協働。
指示→管理→育成→成果サイクル。
自走するチームを育成。
心理的安全性を高める。
支援型リーダーシップ：メンバーのミスや失敗をバックアップ。
先導型リーダーシップ：メンバーを牽引先導。
ハイブリッド型リーダーシップ：ポジションを柔軟に変化、信頼関係を構築。
何も知らない新入社員に指示するつもり。
毎日、困っていること、悩んでいることを聞く。
クッション型指示：整理した上で具体的な作業を指示。
具体的に目的を理解する。
タスクを整理する。
期日、優先度、重要性を提示してメンバーに依頼する。
目的優先型指示は、ゴール裁量を与える。
自ら考えて行動する。
リーダーの指示に疑問、別の良い方法を提案。
リーダーは目的を伝え、メンバーが手段を考える。
リーダーとメンバーは役割が違う、関係性はフラット、平等で尊重し合う。
心理的安全性、リスクを取ることが安全。
相互信頼、相手を尊重し助け合う。
この仕事お願いできる？
地上戦の指示。
メンバーに対するプレゼン能力。
内発的動機付け、興味や関心、楽しい、やりがい、成長している実感。
自ら行動を選択、能力を発揮、仲間と良好な関係を構築。
自律性の欲求：自ら主体的に行動を選択。
有能性の欲求：役に立っている。
関係性の欲求：他人と互いに尊重し合える関係性を構築。
アグレッシブな期日を設定。
CCPM クリティカルチェーンプロジェクトマネジメント。
チームで人数に応じた作業量の仕事を回す。
チームとして成果を出す。
長期的な視点で、メンバーを育成する、生産性を向上させる。
メンバーが自主的に作業を引き受けざるを得ないよう、リーダーは最初に動き過ぎない。

チーム全体で進め方を一緒に考えてくれない？とメンバーに相談を持ち掛ける。

経営方針・戦略、ビジョン、期待される役割、目標。

要素を分解する作業も一緒に考える。

指示型：具体的に指示。

コーチ型：メンバーが自力で解決できるようサポート。

支援型：メンバーからの相談に乗りサポート、方向性ズレ、抜け漏れチェック。

委任型：権限を委譲。

管理項目

期日、作業量、品質（コスト、納期）、問題解決、モチベーション、目標（メンバーの成長）。

この期間に何を達成したいかキャリア形成。

情報共有に感謝。

原因でなく対処策にフォーカス、一緒に打ち手（仕組み、ルール、環境）を考える。

時間を確保。

定例報告（週次進捗会議）、マイルストーン報告。

空：事実、雨：解釈・根拠、傘：行動（どうすれば良いと思う？）。

チャットで全員が同時に。

相談はメンバーの問題を解決。

リーダーはメンバーに気づき、ヒント、経験、事例を与える。

メンバーが主体的に作業できるよう支援し、チームとしての成果を最大化するため調整。

メンバーの意見や行動を尊重し支援しつつ、リーダーから方向性を示す。

高難度や緊急はリーダーが主体的に意思決定。

メンバーのサポートに時間や労力を費やす。

メンバーが主体的に行動しアウトプット。

指示なしチーム。

オーナーシップ当事者意識を持って主体的に取り組む姿勢マインド。

理念・ビジョン・目標、企業価値を向上、貢献。

意義、期待、成長、やりがい、キャリア。

チームのタスク。

メンバー同士でフォローシップ手伝う。

軌道修正が必要な理由を質問、メンバーに気付いてもらう。

心理的安全性の高い環境を提供する。

メンバーの意見・行動に感謝、価値を承認、チームのために行動してくれたことに価値が有る、どのように助かったのか具体的に伝える。

失敗に寛容、許容、サポートするから安心してチャレンジ、どうすれば改善できるか一緒に考える。

オープンなコミュニケーション、すぐにチャット返信。

メンバー間の信頼関係の強化。

互いの価値観を補完し合いながらチームとして最高のパフォーマンスを発揮する。

建設的な意見の対立を求める。

持ちつ持たれつ他メンバーをサポートする、互いにフォローし合う、手伝うよう働き掛ける。